

1. おきみおそ
2. さよちさの
3. なけちなこ
4. ごくに
5. のましのろ
ごずたごに
としがと主
ききうきは
なこなひた
おこおくと

ききうきは
ごはごい
こつこの
ろねろろ日
ににのにも
ますすみや
さべべかさ
りててみし
てののき
けひよちよ
だところろ

かをこらこ
きばびはび
もうたゆあ
のやだたふ
はまかかれ
世いみにさ
一と一あ一
にうにらせ
なとあわた
しぶりれんもう

イエスは、彼らの心の思いを見抜き、ひとりの幼な子を取りあげて自分のそばに立たせ、彼らに言われた、「だれでもこの幼な子わたしの名のゆえに受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。そしてわたしを受け入れる者は、わたしをおつかわしになったかたを受け入れるのである。あなたがたみんなの中でいちばん小さい者

6

その心は主の 恵^みみに満ちて
神の子らとして お^の 自^{ふるも}ずと振舞う。

7

幼^{おさ}な子^ごの心 見せかけはなく
その内^{うち}に 主こそ住^すまわせたもう。

8

その心は主の み^みむね え^えら
罪^{いた}の痛みより ま^まも い^い
守られ生くる。

9

幼な子^{なげ}の心 み手にひかれて
嘆きと十字架も ひるま^{にの}ず担う。

10

その心たえず 神に目^むを向け
御^{みかお}顔を仰^{あお}ぎ見 喜^こび生くる。

11

その心全^{また}く 御^{みかみ}神に頼^{たよ}り
迎^{むか}えに來^こられる 主^まを待^{のぞ}ち望む。

12

人々が遠^{とお}ざけ 避^さくる人をも
その心はなお 愛^{むか}もて迎^{むか}うる。

13

とがめを受^うくとも 心は病^やまず
ほ 誉^{ほこ}めらるときにも 誇^いりを抱^{いだ}かず。

14

「幼な子のごとく 神^{くに}の国をば
うくる者^{もの}ならずば 入^いること能^{あた}わず」

15

愛すべき心 なれは主イエスの
人のため死にし 心を知るらん。

16

うえなく清^{きよ}らの 心のイエスよ
その心われに つくりたまえや。

17

御^い神の御子なる 主よわが意^い志^しを
とこしえ 永^{とこ}久^{しえ}になれの ものとしたまえ。